

大会実行委員長 あいさつ

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
新潟支部長 相楽 智輝

「アビリンピックにいがた2022（第18回新潟県障害者技能競技大会）」は、9月10日に「新潟市総合福祉会館」及び「ホテルグローバルビュー新潟」にて、10種目に44名の選手が参加されました。

新型コロナウイルス感染症の流行の収束が見通せないなか、やむを得ず、大会は関係者のみの来場として、十分な感染症対策を講じて実施しました。

そのような状況にもかかわらず、選手の皆さんは大会に向けて一生懸命練習し、その成果を十分に発揮しようと競技に全力でひたむきに取り組んでいる姿が観られました。また表彰では、入賞の喜びを表現する姿や、競技を振り返り晴れ晴れとしている姿、仲間との健闘を称え合う姿などが観られ、多くの喜びと感動、希望を与えていただきました。

アビリンピックは、障害のある方々が日頃培った技能を競い合い、その職業能力の向上を目指すとともに、事業主の皆様をはじめ広く県民の皆様には障害者の職業能力について理解と認識を深めていただき、障害者の雇用促進と地位の向上を図ることを目的として開催しています。

今年の大会も、選手はじめご関係の皆様のご多大なるご協力のもと、新潟県の障害者雇用を発展させるための大きな力となったと確信しております。引き続き皆様からのご意見やご助言等を賜りまして、今後とも効果的で意義深い大会となるよう努めて参ります。

最後になりますが、大会へご協賛いただいた企業様、各関係機関様、実行委員、競技委員の皆様のご支援により、大会が成功裡に開催できましたことを重ねて御礼申し上げます。また、次回も多くの選手の参加をお待ちするとともに、大会へのご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

～ 大会当日の様子 ～



<文書作成>

～ 大会当日の様子 ～



<パソコンデータ入力>



<パソコン操作>



<表計算>

～ 大会当日の様子 ～



<ビルクリーニング>



<フラワーアレンジメント>



<絵画>



～ 大会当日の様子 ～



<オフィスサポート>



<喫茶サービス>



<ベッドメイキング>